

アルミ缶 リサイクル ニュース

July
7
2017

Vol. 140

CAN
to
CAN



アルミ缶リサイクル協会

Japan Aluminium Can Recycling Association

東京都中央区銀座4-2-15 塚本素山ビル6階
Tel.03-6228-7764 Fax.03-6228-7769 〒104-0061
<http://www.alumi-can.or.jp>

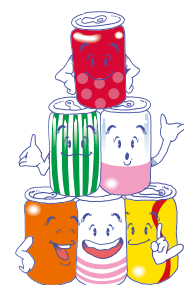
第207回理事会・第45回定時総会開催 2017年度事業活動計画等承認される

当協会は、6月16日(金)に第207回理事会及び第45回定時総会を開催し、2017年度の事業活動計画、収支予算等が承認されました。

定時総会で、新理事長 富永泰夫が選任され、その他5名の副理事長と企画委員長が新任、再任されました。(下の2017年度の役員を参照して下さい)



第207回理事会・第45回定時総会開催の様子



平成28年(2016年)度の飲料用アルミ缶のリサイクル率(再生利用率)を発表

当協会は、6月23日(金)に記者会見を行い、平成28年度の飲料用アルミ缶のリサイクル率(再生利用率)とCAN to CAN率(再生されたアルミ缶のうち、缶材へ利用された割合)を発表しました。

当日は、約30名のアルミ業界関係、環境関係の報道関係者の皆様にお集まりいただき、富永理事長、田代副理事長、末永企画委員長、事務局から以下の内容を説明しました。

平成28年度のリサイクル率は、アルミ缶の再生利用量の増加により前年比2.3ポイント向上し92.4%と目標の90%以上が維持されました。但し、平成28年度も6.2万ト(前年度4.8万ト)のUBCが輸出(主に韓国)されており、市場原理であるものの消費量の20%近くのUBC

リサイクル率92.4%

が輸出されている実態は、国内資源循環の観点からは憂慮すべき事態と思われます。

一方、CAN to CAN率は平成28年度に再生利用されたUBCの内、缶材向けが減少したことにより62.8%となり前年の74.7%より11.9ポイント下回りました。



記者発表風景(写真提供:産業新聞社) (左)田代副理事長 (中)富永理事長 (右)末永企画委員長



リサイクル率

再生利用重量(314,965ト) = **92.4%**
消費重量(341,015ト) (平成27年度 90.1%)



CAN to CAN 率

缶材向け重量(162,924ト) = **62.8%**
国内再生利用重量(259,559ト) (平成27年度 74.7%)



2017年度の役員

- ◆ **理事長**
富永泰夫 (新任)
ユニバーサル製缶(株)
取締役相談役
- ◆ **副理事長**
田代泰 (新任)
昭和アルミニウム缶(株)
代表取締役社長
- 小林淳 (再任)
大和製缶(株)
常務取締役技術本部長
- 森泰治 (再任)
東洋製缶(株)
取締役 常務執行役員
資材・環境・品質保証本部長
- 福井裕之 (新任)
(株)UACJ
常務執行役員
- 磯野誠昭 (新任)
(株)神戸製鋼所
常務執行役員
- ◆ **監事**
小林智昭 (新任)
三菱アルミニウム(株)
総務部 副部長
- 山崎幸三 (新任)
(株)UACJ
総務部長
- ◆ **企画委員長**
末永裕一 (新任)
昭和アルミニウム缶(株)
企画管理部 担当部長



新理事長のご挨拶

この度、アルミ缶リサイクル協会の理事長を務めさせていただくことになりました富永でございます。就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

当協会は1973年に設立され、以来、40年以上にわたりアルミ缶のリサイクルを推進することで、環境保護・資源の有効活用・省エネルギーに貢献することを目標に活動を行ってまいりました。

その結果、2016年度のリサイクル率は92.4%と目標の90%をクリア、リデュース率は7.1%と3年連続して5%以上を達成することができました。これも関係各位の長年に亘るアルミ缶回収活動へのご協力の賜物と、深く敬意を

表しますと共に厚く御礼を申し上げます。当協会は、容器包装リサイクル法の8団体で構成する「3R推進団体連絡会」の一員として3Rの自主行動計画を設定、事業者自らが実践する3R行動を進めるとともに、他団体と協働の広報・啓発活動、各種調査や研究活動も行ってまいります。これらの活動を通じて循環型社会の構築に貢献したいと考えておりますので、引き続き、一層のご支援をお願いするとともに、皆様方のご健勝を祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



富永泰夫 理事長
ユニバーサル製缶(株)
取締役相談役

2017年度事業活動計画

1. 概要

平成28年(2016年)度の飲料用アルミ缶の国内出荷缶数は、前年比101%の216億缶と前年2015年度の111%増加に比べると微増となりましたが、引き続き200億缶の舞台は維持されました。2016年度のリサイクル率は前年比2.3ポイント向上の92.4%と、目標の90%以上が維持されましたが、2016年度は6.2万ト(前年度4.8万ト)のUBCが輸出(主に韓国)されており、市場原理であるものの消費量の20%近くのUBCが輸出されている実態は、国内資源循環の観点からは憂慮すべき事態と思われま

す。リデュースについては小型缶の数量減少の影響もあり、2016年度の1缶当たりの平均重量は15.72gと前年比で0.11g増加となり、その結果リデュース率は7.1%と昨年より0.7ポイント後退しました。

当協会としては、引き続き回収協力者や自治体との情報共有を図りつつ、アルミ缶回収活動への支援を継続するとともに、CAN to CANの資源循環を注視していきます。また3R推進団体連絡会活動については、昨年6月に第3次自主行動計画を作成・公表しましたが、今年もこの計画に基づき活動を進めていきます。

2. 基本方針

「アルミ缶における3R推進のための第3次自主行動計画」の達成に向け、以下の方針に沿って取り組めます。

- (1) 安定的にリサイクル率90%以上を維持します。
- (2) 平成32年(2020年)までに一缶あたりの平均重量を2004年実績比で10%軽量化します。
- (3) 3R推進団体連絡会の一員として、積極的に3R推進に取り組めます。

3. 平成29年度(2017年度)事業活動計画の内容

(1) リサイクルの推進

1) 各回収ルートとの関係者との連携、協働の推進

- ①自治体への広報活動に努め、UBCの資源循環や集団回

収への取り組みを支援していきます。

- ②回収拠点と連携して集団回収に取組む団体の掘り起し、集団回収の促進を支援していきます。

- ・回収拠点推薦によるアルミ缶一般回収協力者表彰制度、及び優秀回収拠点表彰制度を継続
- ・3R推進協議会主催の3R推進功労者等表彰に候補者の推薦を継続
- ・広報紙「リサイクルニュース」(4回/年発行)を発行、配布

2) 広報・啓発活動の推進

- ①次世代への環境教育と消費者への啓発活動を行います。

- ・アルミ缶小・中学校回収協力者表彰制度の継続や環境教育への協力、支援
- ・小冊子、DVD、ポスター等の配布や再生地金サンプル等の教材の貸し出し
- ・中学生 修学旅行時等の来協学習の実施
- ・自治体や各団体主催展示会、講演会への参加、各種書籍・雑誌等への寄稿

- ②マスコミ関係者や支援団体への広報活動を行います。

- ・報道発表(2月:アルミ缶需要量、6月:単年度事業計画とリサイクル率)
- ・リサイクル施設の見学研修会 (10月)
- ・タブのみ回収問題についての正確な情報提供

3) 調査活動、その他

- ・アルミ缶リサイクル率、リデュース率、アルミ缶再生フローの調査と公表

(2) リデュースの推進

- ①2016年度のリデュース率(1缶あたりの缶重量削減率)は前年比0.7ポイント後退の7.1%となりましたが、全体の軽量化は主力の350ml缶の着実な軽量化効果が大きく、重量削減率(対2004年度)は前年比0.2ポイント改善の95.0%となりました。現在のリデュース率の算出方法は缶サイズ構

造による軽量化効果は大きく、重量削減率(対2004年度)は前年比0.2ポイント改善の95.0%となりました。現在のリデュース率の算出方法は缶サイズ構

成や缶数変動影響を受けやすく、今後リデュース率の指標については3R推進団体連絡会と歩調を合わせた指標への変更を検討していきます。

(3)当協会ワーキンググループ(WG)の活動

リサイクルフロー調査WG、3R推進WG、広報WGを継続し、リサイクル率向上のための施策、自主行動計画のフォローアップ、効率的・効果的な広報活動の推進を考えていきます。

(4)3R推進団体連絡会メンバーとしての活動

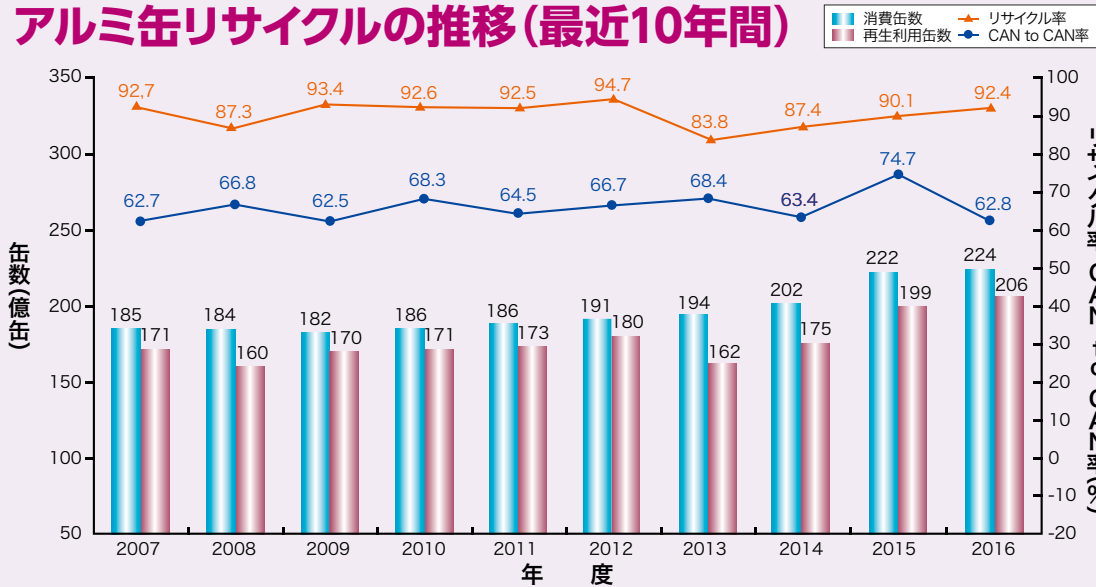
3R推進のために事業者は消費者、自治体との「主体間の連携」を進めることが必要との認識に基づき、同連絡会が開催する各種取組みに参画します。また昨年に策定・

公表した「第3次自主行動計画」に引き続き取り組みます。

- ①事業者自ら実践する3R推進計画を推進します。
 - ・リデュース、リサイクル目標達成に向けての取り組み
- ②普及・啓発活動を推進します。
 - ・3R推進フォーラム、3R交流セミナー意見交換会(4回)の開催
 - ・市民リーダー育成のための支援、リサイクル冊子の制作・配布
 - ・エコプロ等の展示会への参加



アルミ缶リサイクルの推移(最近10年間)



来協学習

毎年、修学旅行シーズンには、全国の中学生のグループが当協会を訪れ、アルミ缶のリサイクルについて学んでいかれます。平成29年度の4月～6月現在では4校の学校が来協されました。協会より、サンプルやDVDを使い、協会活動、アルミ缶のリサイクル率やその工程、リサイクルによるエネルギー節約効果などについて説明しています。

リサイクルについて学んだ生徒からたくさんのお手紙をいただきました。どのお手紙からも、アルミ缶のリサイクルについて学んだことにより、多くのことを感じ、喜んでいただいていることが伝わってきます。

その中から、三重県いなべ市立藤原中学校三年生の埜々慎司(のの しんじ)様のお手紙を紹介致します。

「先日は、僕たちの訪問学習にご協力いただきありがとうございました。今回の訪問学習で初めて知ったことが沢山ありました。中でも印象に残ったのは、アルミ缶は、何回も再利用されて

きているということです。アルミ缶になる前は、アルミ缶を溶かしてアルミの板などを作ってからアルミ缶を作るという作業をしているなんて知りませんでした。

缶の飲み物の上についている、開けるときに使う部品を取ってリサイクルする人が多いと言っていて、僕もたまたま取ってしまうので取らないようにしてリサイクルしていきたいです。アルミ缶のリサイクルを今より沢山していきたいです。本当にお世話になりました。」



藤原中学校の生徒 (中央)協会部長 大西輝彦



「アルミ缶 小・中学校回収協力者表彰」の募集を開始しました
 応募方法はホームページをご参照ください。 <http://www.alumi-can.or.jp>

参考▶ 世界各国のアルミ缶リサイクル率 (2017年6月末日更新)

国名	需要量(億缶)					リサイクル率(%) リサイクル率の算出方法は各国で異なる				
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
イギリス*1	94	94	96	98		60	65	65		
イタリア*1	19	21	23	22		60	67	72		
フランス*1	41	43	47	51		55	57	64		
ドイツ*1	32	34	33	36		96	96	99		
スペイン*1	66	65	62	63		63	65	66		
ノルウェー*1			4	5		94	96	95		
アメリカ*2	925	922	940	933	932	65.1	67	66.7	66.5	64.3
ブラジル*3		198		229	231	98.3	97.9		98.4	97.9
韓国*4	34					80				
日本	188	191	194	202	222	92.5	94.7	83.8	87.4	90.1

*1 需要量:BCM (Beverage Can Makers Europe)の年次報告書によるリサイクル率:EAA (European Aluminium)のプレスリリースによる

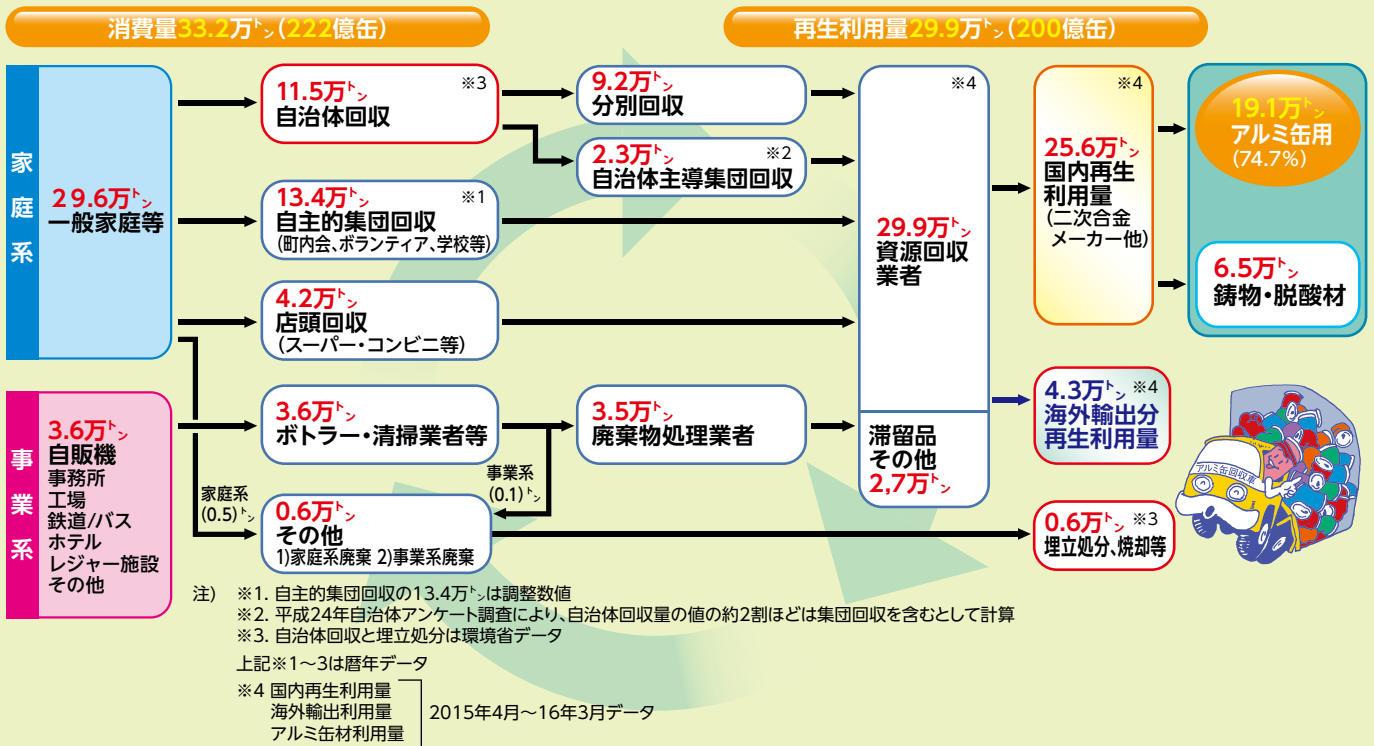
*3 ABAL (The Brazilian Aluminum Association)のプレスリリースによる

*2 需要量:CMI (The Can Manufacturers Institute)の年次報告によるリサイクル率:AA (The Aluminum Association)のレポートによる

*4 韓国金属缶資源協会のホームページより抜粋

2015(平成27)年度 アルミ缶再生利用フロー

アルミ缶消費重量は33.2万トン。国内再生利用量は25.6万トン。1)リサイクル率は海外輸出分再生利用量を入れて90.1% 2)CAN to CAN率は74.7%



協会からのお願い

● タブは缶から外さずいっしょにリサイクル

アルミ缶のタブは環境保護のため、缶フタから離れないようにしてあります。タブはタブだけで回収するのではなく、缶に付けた状態で丸ごと回収してください。無理にタブを取るとケガをする場合もあり危険です。

● ボトル缶のキャップの取扱い

飲料用アルミボトル缶のキャップは、アルミ製です。キャップも貴重なアルミ資源です。キャップ・本体とも軽く水洗いした後、中の水分をよく切ったうえ、キャップを軽く締めて回収してください。

● アルミ缶にタバコを入れないでください

アルミ缶にタバコの吸殻を入れると、リサイクルの妨げになるだけでなく、火災の原因になる可能性があります。

編集後記

今回より、アルミ缶リサイクルニュースの体裁が変わり左開きになりました。今後ともご愛読いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



アルミ缶リサイクルニュース第140号

発行日 平成29年7月27日

発行人 森口 夏樹

編集人 北澤 美佐子

発行所 アルミ缶リサイクル協会